

李 城姫 さんからメッセージ

佐世保市の皆さん、アンニョンハセヨ(こんにちは)! 韓国国際交流員の李城姫です。このたび、4月をもって国際交流員の任期を終え、佐世保を離れることになりました。2017年2月に第1希望の佐世保市への着任が決まり、来日までの間、とてもわくわくしていたことを今も覚えています。あっという間に4年が経ち、「佐世保」と聞くと自分のことのように思えるほど大好きになりました。



国際交流員としての4年間は、姉妹都市交流事業、翻訳・通訳、オンライン料理教室、ラジオ出演などの業務に携わってきました。特に姉妹都市交流事業は、「人と人をつなぐ仕事がしたい」という私の夢を叶えてくれた大切な仕事です。青少年交流やスポーツ交流、行政交流などを通じて、日本と韓国のたくさんの人が笑顔で交わる様子を間近で見ることができて本当にうれしかったです。

また、市民の皆さんとの交流も大好きな仕事でした。韓服(チマチョゴリ)の折り紙やストラップ作りなど、参加者の皆さんと触れ合いながら文化を紹介した時間はとても楽しかったです。ことしはオンラインを活用し韓国料理を作る「韓国料理リモート教室」を行いました。初めての取り組みで、また料理が苦手な私にとっては緊張の連続でした。画面越しで参加者の皆さんと一緒に料理を作り、参加者から「おいしい」という感想を聞くと、場所は違っても交流していることを実感できました。おかげで私自身も料理に少し慣れ、作れる料理も増えました。

「人と人との交流を続けること」の大切さを学んだ佐世保に、またいつでも帰ってこられる日が早く訪れることを心から願っています。4年間、本当にありがとうございました。トマンナヨ!(またお会いしましょう)

国際政策課 ☎ 24-1111

人の動き (3月1日 現在)

- 総人口 242,664人 (前月比- 406人)
男性 115,065人 (- 227人)、女性 127,599人 (- 179人)
- 世帯数 104,742世帯 (前月比 - 86世帯)
- 2月中の動き
転入 378人、転出 659人、出生 129人、死亡 254人

針尾赤マテ貝



「針尾赤マテ貝」は2月から本格的な漁のシーズンに突入し、3～4月に漁の最盛期と旬の時期を迎えます。針尾赤マテ貝は、一般的に砂浜で採れる「マテ貝」と違い、針のような多数の突き棒を海底に突き刺す「突き漁」と呼ばれる独特の漁法で、針尾瀬戸などのごく限られた海域でしか漁獲できません。

赤マテ貝の生息海域は潮流が激しく、餌となるプランクトンが豊富であることが条件とされています。西海橋周辺の針尾瀬戸は、大村湾からの海水の出入り口であり、海水が激しく入れ替わるため、貝の餌であるプランクトンが豊富に流れ込みます。この環境が全国でも数少ない赤マテ貝の生息海域を形成しています。

そのような環境で育った針尾赤マテ貝は、一般的なマテ貝にあるような泥臭さがなく、急流で身が引き締まっており、独特のこりとした食感とかむたびに口の中で広がる貝本来のうま味が楽しめ、市内だけでなく市外にもファンの方々が数多くいらっしゃいます。

殻付きのままなら炭火焼きやバター焼きに、むき身の貝ならパスタやシチューなどに入れても相性がよく、さまざまな料理で春の「針尾瀬戸」の味が堪能できます。この機会にどうぞお召し上がりください。

※主な販売場所など詳しくはお尋ねください。

針尾漁業協同組合 ☎ 58-2019

させぼ市政だより

- テレビ NBC 土曜 9:25～9:30、KTN 土曜 11:45～11:50
NCC 土曜 16:25～16:30、NIB 日曜 6:30～6:35
- ラジオ FM長崎 火曜 9:05～9:10
FMさせぼ 金曜 13:00～13:55
土・日曜 10:00～10:55 (再放送)
月曜 21:00～21:55 (再放送)
- 新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜

SASEBO グローバルキッズ・チャレンジ事業

～世界に広がる私の未来～

Expand the possibilities for your own future!

国際色豊かな環境を生かし、グローバル人材が育つまちを目指して平成29年から本市が力を入れて取り組んでいる「英語で交わるまち SASEBO プロジェクト」。今年度から新たな取り組みとして「SASEBO グローバルキッズ・チャレンジ事業」を開催し、子どもたちが自分の思いや考えを積極的に英語で伝えようとする姿を目指します。皆さん、どうぞご参加ください。

「SASEBO グローバルキッズ・チャレンジ事業」では、市内の小学6年生を対象に、大学教授をメインとした講師陣が約半年間にわたり英語を交えたワークショップや体験活動、英語本来の発音に着目した音声活動、日本と外国の文化の違いを発見するプログラムなどを楽しく開催します。

「英語が好き」「英語本来の発音で話したい」など、英語や世界に憧れる佐世保の児童の皆さん、未来のグローバルリーダーへの第一歩に挑戦しませんか。申し込み方法など、詳しくは5月ごろに小学校を通じて配布する案内チラシをご覧ください。

事業の内容 (予定)

期 間	本年6月～12月(15回程度) ※土曜10時～12時。月に1、2回実施予定。
場 所	まちなかコミュニティセンター(旧中央公民館)など



募集人数	10人程度(応募多数の場合抽選)
料 金	無料(一部実費負担あり)
※当事業は「英語異文化教育研究会 PIEES」 ^{ピース} と協働で実施します。	

社会教育課 ☎ 24-1111

聞いて「徳」する話 70 差し伸べられた温かい一言

先日スーパーで買い物をしたときの話です。支払いを済ませ、買い物バッグに商品を入れているときに購入した乾麺の袋が破れていたようで、袋を持ち上げた瞬間パスタが散乱し、床一面に散らばってしまいました。私はどうしようかと戸惑いながらも、とにかく拾って片付けなければと思い、1人で拾っていました。周りの人は冷たい視線を送り避けていきます。

そんな中、1人の女性が「大丈夫ですか?」と声を掛けてくださり、一緒に私の手伝いをしてくださいました。その一言が私にはとてもうれしくて、心がとても温かくなりました。

コロナ禍で人との接触を避ける今だからこそ、勇気のいる行動だったと思います。私は帰り際にもう一度お礼を伝えて去りました。私は今回の経験で困っている人がいたら絶対に手を差し伸べようと心に誓いました。あのとき声を掛けてくださった方、本当にありがとうございました。(30代女性)



「聞いて徳する話」募集中
身の回りで見つけた「聞いて「徳」する話」を募集中です。応募用紙は事務局で配布しており、市ホームページからダウンロードすることもできます。
佐世保徳育推進会議 ☎ 23-2856